

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院の乳癌患者における、タモキシフェン内服による子宮内病変、子宮癌のリスク上昇への関連性の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2010年1月1日から2020年12月31日までの間に、乳癌の診断があり、当院に受診した経過のある患者さん。
<b>2. 研究目的・方法</b> 乳癌治療に用いられるタモキシフェンは子宮内膜ポリープや子宮体癌を増加させる可能性が指摘されています。今回、2010年1月1日から2020年12月31日の間に、当院に乳癌の診断で受診歴がある患者さんの中で、タモキシフェン内服の有無によって子宮内膜ポリープなどの子宮内病変や子宮癌の割合に差があるかどうかを後方視的に検討します。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 年齢、病名(乳癌、子宮内膜ポリープ、子宮内膜増殖症、子宮内膜異型増殖症、子宮体癌、子宮癌肉腫、子宮肉腫)と対象病名の診断日、タモキシフェン内服歴(ノルバデックス、タスオミン、ノルキシフェン、トレミフェン含む)、投薬開始日・終了日、乳腺外科初診日・最終受診日
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。
<b>6. 研究組織</b> 研究責任(代表)者 研究機関名 昭和大学医学部産婦人科学講座 氏名 栗木あかね

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：産婦人科学講座

氏名：栗木あかね

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8551